

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成20年5月8日(2008.5.8)

【公表番号】特表2003-528609(P2003-528609A)

【公表日】平成15年9月30日(2003.9.30)

【出願番号】特願2001-570742(P2001-570742)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
A 6 1 K	35/76	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	3/04	(2006.01)
A 6 1 P	7/04	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	9/14	(2006.01)
A 6 1 P	15/16	(2006.01)
A 6 1 P	15/18	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/06	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	27/02	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
C 0 7 K	14/47	(2006.01)
C 0 7 K	16/18	(2006.01)
C 0 7 K	19/00	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 P	21/02	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
C 1 2 R	1/19	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
A 6 1 K	35/76	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	3/04	
A 6 1 P	7/04	
A 6 1 P	9/10	
A 6 1 P	9/14	
A 6 1 P	15/16	
A 6 1 P	15/18	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 P	17/06	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	27/02	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	43/00	1 0 5

C 0 7 K	14/47	
C 0 7 K	16/18	
C 0 7 K	19/00	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 P	21/02	C
C 1 2 N	5/00	B
C 1 2 N	5/00	C
A 6 1 K	37/02	
C 1 2 P	21/02	C
C 1 2 R	1:19	

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月19日(2008.3.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 抗血管形成活性を有する、ニドゲンの C 末端球状ドメインの単離されたタンパク質、またはそのフラグメントもしくは変異体である単離されたバスコスタチン。

【請求項 2】 ニドゲン-1の C 末端球状ドメインである、請求項 1 記載のバスコスタチン。

【請求項 3】 抗血管形成活性を有する、単離された配列番号：2 のタンパク質、またはそのフラグメントもしくは変異体。

【請求項 4】 抗血管形成活性を有する、配列番号：2 と 90 % 以上の配列同一性を有する単離されたタンパク質またはペプチド。

【請求項 5】 抗血管形成活性を有する、配列番号：2 と 75 % 以上の配列同一性を有する単離されたタンパク質またはペプチド。

【請求項 6】 抗血管形成活性を有する、28 以上のアミノ酸にわたって配列番号：2 と 51 % 以上の配列同一性を有する単離されたタンパク質またはペプチド。

【請求項 7】 モノマーである、請求項 1 ～ 6 いずれか記載のタンパク質、フラグメント、または変異体。

【請求項 8】 抗血管形成活性を有する、請求項 1 ～ 6 いずれか記載のタンパク質、フラグメント、または変異体の多量体。

【請求項 9】 抗血管形成活性を有する、請求項 1 ～ 6 いずれか記載のタンパク質、フラグメント、または変異体の 1 つ以上を含有してなるキメラタンパク質。

【請求項 10】 マチン、アレステン、カンスタチン、ツムスタチン、エンドスタチン、アンギオスタチン、レスチン、アボミグレン、および他の抗血管形成タンパク質ならびにそのフラグメントからなる群より選ばれる少なくとも 1 つのタンパク質分子をさらに含有してなる、請求項 9 記載のキメラタンパク質。

【請求項 11】 請求項 1 ～ 6 いずれか記載のタンパク質、フラグメント、または変異体の 1 つ以上および許容され得るキャリアを含有してなる医薬組成物。

【請求項 12】 マチンもしくはそのフラグメント、アレステンもしくはそのフラグメント、カンスタチンもしくはそのフラグメント、ツムスタチンもしくはそのフラグメント、エンドスタチンもしくはそのフラグメント、アンギオスタチンもしくはそのフラグメント、レスチンもしくはそのフラグメント、アボミグレンもしくはそのフラグメント、および他の抗血管形成タンパク質もしくはそのフラグメントからなる群より選ばれる少なく

とも1つのタンパク質分子をさらに含有してなる、請求項11記載の医薬組成物。

【請求項13】 抗血管形成活性を有し、ニドゲンのC末端球状ドメインの単離されたタンパク質またはそのフラグメントからなり、該フラグメントが配列番号：2を含む、単離されたパスコスタチン。

【請求項14】 抗血管形成活性を有する、配列番号：2を含む単離されたポリペプチド。

【請求項15】 65で1×SSCおよび1%SDS（ドデシル硫酸ナトリウム）である高ストリンジェンシーな条件下で配列番号：1にハイブリダイズする核酸配列にコードされる、単離されたパスコスタチン。

【請求項16】 抗血管形成活性を有する、ニドゲンのC末端球状ドメインの単離されたタンパク質、またはそのフラグメントもしくは変異体。

【請求項17】 抗血管形成活性を有する、ニドゲンのC末端球状ドメインと90%以上の配列同一性を有する単離されたタンパク質またはペプチド。

【請求項18】 抗血管形成活性を有する、ニドゲンのC末端球状ドメインと80%以上の配列同一性を有する単離されたタンパク質またはペプチド。

【請求項19】 抗血管形成活性を有する、ニドゲンのドメインI、ドメインIIおよびドメインIIIからなる群より選ばれる単離されたタンパク質、またはそのフラグメントもしくは変異体。

【請求項20】 抗血管形成活性を有し、ニドゲンのドメインI、ドメインIIおよびドメインIIIからなる群より選ばれるタンパク質、またはそのフラグメントもしくは変異体と90%以上の配列同一性を有する請求項19記載の単離されたタンパク質、またはそのフラグメントもしくは変異体。

【請求項21】 ニドゲン-1のC末端球状ドメインの単離されたタンパク質を含み、哺乳動物組織と接触させることにより、該組織における血管形成活性を阻害する医薬。

【請求項22】 組織が、血管形成依存性癌、良性腫瘍、慢性関節リウマチ、糖尿病性網膜症、乾癬、眼の血管形成疾患、オスラー-ウェバー症候群、心筋血管形成、斑新生血管形成、毛細血管拡張症、血友病関節症、血管線維腫、創傷肉芽形成、腸癒着、アテローム性動脈硬化症、強皮症、過形成性瘢痕、ネコ引っ掻き病、ヘリコバクターピロリ潰瘍、透析移植片血管アクセス狭窄、および肥満症からなる群より選ばれる疾患を有する個体の組織である、請求項21記載の医薬。

【請求項23】 避妊薬である、請求項21記載の医薬。

【請求項24】 抗血管形成活性を有し、配列番号：2の単離されたポリペプチド、またはそのフラグメントもしくは変異体を含み、哺乳動物組織と接触させることにより、該組織における血管形成活性を阻害する医薬。